# 牛乳乳製品統計調査 審査事項一覧表

(平成28年4月現在)

# 1 牛乳乳製品統計調査(基礎調査)調査票(案)

別記様式第1 秘農林水産省	号(第5条				乳製品統計 <b>木</b>	,	,	D	調査年	都道府県	管理番号	分類符号	工場	ਤ ਲੋ
統計法に基づく基	<b>。</b> 幹統計		基	礎 調	笡	票(案	統訂法に 計調査で	府統計 基づく国の統 す。調査票情	・網掛け部分に	ま記入の必要はる	ありません。			000000
牛乳乳製品絲	統計						報の秘密 を期しま I	の保護に万全 す。	1					
	Ę			記入者氏名				1 経営組織	1:会社 2:農業協同 3:個人・そ	組合	2 常用従業	者数(12月) 人	31日現在)	
3 生乳の送受	受乳量及び処	理内訳(12月)	の月間)										単位:	: t
			受 乳 量	Т		他工場・		1	生	1 の処理	内 訳			
区分	計	生産者・: 県 内	集乳所から 県 外	他工場・ 県 内	処理場から 県 外	型理場への 送乳量	総処理量	牛乳等向け	うち、 業務用向け	乳製品向け	うち、 チーズ向け	うち、 クリーム等向!	欠 減	į
12月の月間														
4 牛乳等の生	上産量及び出	荷状況 ( 1 月·	~12月)							単位: kl				
11000		1,1,0,00		牛乳等生	産量					1 12 1 112	1			
区 分	計	牛 乳	うち、業務用	うち、 学校給食用	加工乳 · 成分調整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料		用牛乳等の県 は予定の有無	外出荷の実績 (1月~12月)	)
1月~12月							,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				1		有る:1 無し:2	
5 飲用牛乳等	生の突架突急	· 別生産量(10)	日の日間)				単位: kl	•		•	=	·		
				スびん	紙集	· · · · · · · · ·		Ī						
区	分	計	500m1未満	500m1以上	500m1未満	500m1以上	その他							
牛 乳	(10月の月間)													
加工乳・成分調整牛乳	(10月の月間)													
6 生産能力	(12月31日現	(在)												
		生乳の	飲用牛乳等	はっ酵乳	粉乳	バ	ター	クリーム	チ	ーズ	れん乳	7		
区	分	貯乳能力				連続式	バッチ式		連続式	バッチ式				
生産能力(12月	月31日現在)	( t )	(1/h)	(1/h)	(kg/h)	(kg/h)	(1/バット)	(kg/h)	(kg/h)	(1/バット)	(kg/バット	)		
III.	101 1 70 1117													
7 乳製品の生	E産量(1月	~12月) 及び	年末在庫量(	12月31日現在	<u>:</u> )						,			単位:
<b>∵</b>	$\triangle$	△₩□	HH HE #\ □	調製粉乳	ホエイ うち	, タンパク質 うち, タン	/パク質 バタ <b>-</b>	- クリーム	チーズ			れん乳 	1	乳脂肪分8
区	N	全粉乳	脱脂粉乳	調製材孔	ペウダー き	25~ 25~	量	7,9-2	, , , , ,	うち,直接消費用 ナチュラルチース*		無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	
生産量(1月~12	月)													
在庫量(合計)(12	月31日現在)							32 Fr 1:	<b>た</b>	).1	- A T H A T	\ + + + 1 - 1	31	. M
在庫量(国産)(12	月31日現在)								在庫量について はありません。	は、本仕が複数	(の上場・倉庫)	ガを一括で把握	至している場合	は記人する
	月31日現在)						_							

# 2 牛乳乳製品統計調査(基礎調査)審査事項一覧表

調査票項目	項番	審査内容	対処方法
指標部	1	指標部に記入漏れ又は誤りがないか	各コードを牛乳処理場・乳製品工場一覧表で確認してく ださい。
		調査年 都道府県 管理番号 分類符号 工 場	
1 経営組織	2	記入内容が前年と違っていないか	前年と違う経営組織を記入している場合は、調査客体に確認してください。
		1 <b>経営組織</b> 1: 会社 2: 農業協同組合 3: 個人・その他	
2 従業員数(12月31日現在)	3	記入内容が前年と違っていないか	前年と5人以上の差が出た場合は、調査客体に理由を確認してください。
		2 常用従業者数 (12月31日現在)	

調査票項目	項 番				審査内容	}						対処方	法	
3 生乳の送受乳量及び処理内訳 (12月の月間)	4	計と内訳が一致	しているか							一致しない	ハ場合は、詞	調査客体に	確認してく#	ださい。
	5	前年値と比べ大	きな変動はフ	ないか									年はある(た 認してくだる	
	3	3 生乳の送受乳	量及び処理内	<b>勺訳(12月の</b> 月	月間)					ļ.				単位: t
				受乳量			他工場・処			生	乳の処理す	勺 訳		
	Ш	区分	-	省・集乳所から		処理場から	理場への送	総処理量	生乳等向け	5 fs.	乳製品向け	うち、	5 ts.	欠 減
	╌	-	県内	1 原外	県内	県 外	孔里	NO-C-I-MC	1 12 11 13 13	業務用向け	4 Dactain 117	チーズ向け	クリーム等向け	
		12月の月間												
	6	他工場・処理場	への送乳量に	こ大きな変動	はないか						で10%以上の てください。		場合は、調査	査客体に理由
	-	他工場・処理場 生乳の送受乳			月間)		納丁堪。加			を確認して		,	場合は、調査	査客体に理由 単位:t
	-	生乳の送受乳	量及び処理内	内訳(12月の月	月間)	処理場から	他工場・処理場への送	総処理量	生乳 結向け	を確認して生	てください。 乳の処理』	内訳		単位: t
	3	医 生乳の送受乳 区 分 計	量及び処理内	内訳 (12月の) 受 乳 星 ぎ・集乳所から	月間)	処理場から 県 外		総処理量	牛乳等向け	を確認して	てください。	内訳	55,	
	3	生乳の送受乳	量及び処理内生産	内訳 (12月の) 受 乳 星 ぎ・集乳所から	他工場・		理場への送	総処理量	牛乳等向け	を確認して生まれる。	てください。 乳の処理』	内訳	55,	単位: t
	3	医 生乳の送受乳 区 分 計	量及び処理P 生産者 県 内	内訳(12月の) 受 乳 量 ぎ・集乳所から I 県 外	<b>門間)</b> は 他工場・ 県内	県 外	理場への送乳量		牛乳等向け	生	てください。 乳の処理! 乳製品向け	内 訳 うち、 チーズ向け	55,	単位: t
	7	医分割 2月の月間	量及び処理内 生産者 県内	内訳 (12月の) 受 乳 量 ぎ・集乳所から ロ 県 外	問り、 他工場・ 県内	県 外	理場への送乳量		牛乳等向け	生	てください。 乳の処理! 乳製品向け	内 訳 うち、 チーズ向け	うち、 クリーム等向け	単位: t
	7	生乳の送受乳 区 分 計 ②月の月間 『受乳量 計』 生乳の送受乳	量及び処理内 生産名 県内 一『他工場	Pi訳 (12月の月 受 乳 量 皆・集乳所から 原 外 ・処理場への つ訳 (12月の月 受 乳 量	日間) ・ 他工場・ ・ 以内 ・ 送乳量』 =	<sup>県</sup> 外	理場への送 乳量 が一致する 他工場・処		牛乳等向け	を確認して 生: うち、 業務用向け	てください。 乳の処理! 乳製品向け	内 訳 <sup>うち、</sup> チーズ向け 調査客体に	うち、 クリーム等向け	単位: t 欠減 ださい。
	7	生乳の送受乳 区 分 計 2月の月間 『受乳量 計』	量及び処理P 生産名 県内	内訳 (12月の) 受 乳 量 ・集乳所から ・ 原 外 ・ 処理場への 受 乳 量 ・ 集乳所から	日間) ・ 他工場・ ・ 以内 ・ 送乳量』 =	県 外	理場への送乳量が一致する		<ul><li>牛乳等向け</li><li>牛乳等向け</li></ul>	を確認して 生: うち、 業務用向け	てください。 乳の処理 『 乳製品向け い場合は、記	内 訳	うち、 クリーム等向け  確認してく  す  うち、	単位: t 欠減 ださい。 単位: t
	7	生乳の送受乳 区分 計 2月の月間 『受乳量 計』 生乳の送受乳	量及び処理P 生産者 県内 一『他工場 量及び処理P	内訳 (12月の) 受 乳 量 ・集乳所から ・ 原 外 ・ 処理場への 受 乳 量 ・ 集乳所から	問) 他工場・ 県内 送乳量』=	県 外 『総処理量』 処理場から	理場への送 乳量 が一致する 他工場・処送 理場への送	5 <b>.</b>		を確認して 生 うち、 業務用I/hilt 一致しなし 生	てください。 乳の処理 『 乳製品向け い場合は、記	内 訳	うち、 クリーム等向け  確認してく  す  うち、	単位: t 欠減 ださい。 単位: t

調査票項目	項番					審査	查内容							対処方:	法	
3 生乳の送受乳量及び処理内訳 (12月の月間) (つづき)	8	計とに	内訳が一致し	しているか							-	一致しない	場合は、記	周査客体に	確認してく	ださい。
	9	生乳の	の処理内訳に	こ大きな変	動はないか	`							₹10%以上の てください。		:場合は、調	査客体に理由
	10	『牛	乳等向け』だ	が『うち、	業務用向に	け』以上と	なっている	こと				大小関係が てください		ていない場	合は、調査	客体に確認し
	11	『乳』	製品向け』だ	が『うち、	チーズ向け	け+うち、	クリーム等	「向け』以.	上となって	いること		大小関係が てください		ていない場	合は、調査	客体に確認し
			3 生乳のi	送受乳量及	び処理内訳	(12月の月	問)				•					単位: t
		8				受 乳 量			他工場・処			生	乳の処理	内訳		
			区分	<del>3</del> †	生産者・多	見乳所から 県 外	他工場・気息内	処理場から 県 外	理場への送 乳量	総対理量	牛乳等向け	うち、 業務用向け	乳製品向け	うち、 チーズ向け	うち、 クリーム等向け	欠it
			12月の月間		शह ४४	ale ale	ge VI	17: 7h				郷籍用門けて		ナース同け	グリーム等同け	
		'	- 11-71-01		- 6 to TI											NI II
	l	9	3 生乳の	运受乳重及 	ひ処理内訳	受乳量	間)		T			/1:	乳の処理	rha intr		単位: t
			区分	21	生産者・1	集乳所から	他工場・	処理場から	他工場・処 理場への送	40 to -m P	4 -24 -56 -6 - 1				I- 4	4
				31	県 内	県 外	県内	県 外	乳量	総処理量	牛乳等向け	うち、 楽器用向け	乳製品向け	うち、 チーズ向け	うち、 クリーム等向け	欠 減
			12月の月間													
			3 生乳のi	送受乳量及1	び処理内訳	(12月の月	間)									単位: t
		10				受乳量	1-27		他工場・処			生	乳の処理	内訳		
			区 分	<del>3</del> †	生産者・3 県 内	製乳所から 県 外	他工場・分界内	処理場から 県 外	理場への送	総処理量	牛乳等向け	5 <b>5</b> .	乳製品向け		うち、 クリーム等向け	欠 減
			12月の月間		,शह ४४	ale ale	inte Pri	याः ७६			4	業務用向け		チーズ向け	グリーム学問行	
		'			- 4 to 200 -t -											
		11	3 生乳の	送受乳量及	び処理内訳	受乳量	問)					/-	乳の処理	da šp		単位: t
		''	区分		生産者・1	製剤所から	他工場・	処理場から	他工場・処理場への送				1		1	
				81	県内	県 外	県内	県外	乳量	総処理量	牛乳等向け	うち、 業務用向け	乳製品向け	うち、 チーズ向け	うち、 クリーム等向け	欠減
			12月の月間													
		,														

調査票項目	項番				審査内容	!						対処方法	
4 牛乳等の生産量及び出荷状況 (1月~12月)	12	『計』と『牛乳-	+加工乳・成分	<b>}</b> 調整牛乳』	が一致する	ること				一致しない均	易合は、調査	を客体に確認	<b>思してください</b> 。
	13	『牛乳』が『うね	ち、業務用+3	うち、学校紀	哈食用』以』	ことなってい	ること			大小関係が原 てください。		いない場合は	は、調査客体に確認し
	14	『加工乳・成分記	調整牛乳』が	『うち、業績	務用』以上 と	:なっている	こと			大小関係が原 てください。	<b>載り立って</b> に	いない場合は	は、調査客体に確認し
	15	『加工乳・成分記	調整牛乳』が	『うち、成分	分調整牛乳』	以上となっ	ていること	<u> </u>		大小関係が原 てください。	<b></b>	いない場合は	は、調査客体に確認し
			4 牛乳等(	の生産量及	び出荷状況	(1月~12	月)						単位: k 1
		12	区分	計	牛乳		牛乳等生 うち、 学校給食用	産量 加工等・ 成分調整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
			1月~12月				TIXMONT			10077 PM LE 1 40			
			4 牛乳等(	の生産量及	び出荷状況	(1月~12	月)						単位: k 1
		13	区分	計	牛乳	飲用 うち、業務用	牛乳等生 うち、 学校給食用	産 量 加工乳・ 成分割整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
			1月~12月			>	1 ISHI ATT			100000000000000000000000000000000000000			
			4 牛乳等(	の生産量及	び出荷状況	(1月~12.	月)						単位: k 1
		14	区分	計	牛 乳	飲用	牛乳等生 うち、 学校給食用	座量 加工乳・ 成分割整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
			1月~12月						<u> </u>				
			4 牛乳等の	の生産量及	び出荷状況			_					単位: k 1
		15	区分	計	牛 乳	飲用 うち、業務用	牛乳等生 うち、 学校給食用	産量 加工乳・ 成分測整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
			1月~12月						>				
			_										

調査票項目	項番			審査内容	\$				対	処方法	
5 飲用牛乳等の容器別容器容量別 生産量(10月の月間)	16	容器容量別生産量	量の各計に大きな変動!	はないか				対前年比で1を確認してく		出た場合は、訂	周査客体に理由
	17		『ガラスビン500ml未満 他』が一致すること	5+ガラスビン	√500m 以上+約	氏製容器500ml未	<b>-</b> 満+紙製容器	一致しない均	場合は、調査客	体に確認してく	ください。
	18	『加工乳・成分記 500ml未満+紙製	         	ラスビン500m 他』が一致す	未満+ガラス ること	ビン500ml以上:	+紙製容器	一致しない場	場合は、調査客	体に確認してく	ください。
			5 飲用牛乳等の	容器容量別生	産量 (10月の	)月間)		-		単位: k 1	
		16	区分		計	ガラフ 500m1未満	なびん 500m1以上	紙製 500m1未満	容器 500m1以上	その他	]
			牛 乳	(10月の月間)		O O WILLIAM	overgi_	O COMESTA INC	UU		
			加工乳・成分調整牛乳	(10月の月間)							1
			5 飲用牛乳等の乳	容器容量別生	産量 (10月の	)月間)				単位: k 1	•
		17	区分		#+		<b>べぴん</b>		容器	その他	]
			牛 乳	(10月の月間)	=	500m1未満	500m1以上	500m1未満	500m1以上		
			加工乳・成分調整牛乳	(10月の月間)		_					
			5 飲用牛乳等の	容器容量別生	産量(10月 <i>0</i>	)月間)				単位: k 1	,
		18	区分		計		スぴん		<b>奥容器</b>	その他	1
			牛 乳	(10月の月間)		500m1未満	500m1以上	500m1未満	500m1以上		-
			加工乳・成分調整牛乳		-						
								ļ.			

	調査票項目	項番				審査内	容						対処方法	
6	生産能力(12月31日現在)	19	飲用牛乳等の生	産能力がな	いのに飲用	牛乳の生産	量がある				調査客体に	に確認して	ください。	
			4 牛乳等(	の生産量及	な出荷状況						•		単位: k 1	
			区 分	#1	牛乳	飲用	牛乳等生	産量 加工乳・ 成分測整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	
			1月~12月				学校給食用 記入あり			成分關整牛乳				
			6 生産能力	(12月31日:	現在)		A							
			区 分生産能力(12月		生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用作乳業(1) 市)	はっ酵乳 (1/h)	粉乳 ( kg / h )	連続式 ( kg / h		式			バッチ式 ( kg/n´ット )
		20	はっ酵乳の生産		いのにはっ酵						調査客体(	に確認して	ください。 単位:kl	_
			区分	#	牛乳		牛乳等生 うち、 学校給食用	産量 加工乳・ 成分割整牛乳	うち、業務用	うち、 成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	
			1月~12月									記入あり		
			6 生産能力	(12月31日	現在)						V			
			区分		生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用牛乳等 (1/h)	はっ酵乳 (1/h)	粉乳 ( kg / b )	連続式 ( kg / h		式			バッチ式 / ハ´ット)
			生産能力(12月)	31日現在)			記入なし							

調査票項目	項番		審査	<b></b>				対処方	去
6 生産能力(12月31日現在) (つづき)	21	粉乳の生産能力がないのに粉乳	しの生産量がある				調査客体に	確認してください。	
	Г	6 生産能力(12月31日現在)							
		生3	(O) ALTHORN	LL EKO	dry on	バタ-		チーズ	15v 4 -1
		区分貯乳	能力 飲用牛乳等	はっ酵乳 (1/h)	粉乳 (kg/h)	連続式	バッチ式 (kg/1	連続式	バッチ式 (kg/パット)
		生産能力(12月31日現在)	, , , , , ,	(1/11)	記入なし	( kg / h )	(1/n'ył) (kg/1	1) (kg/h)	(1 / n'ył) (kg/n 31)
				<u> </u>	NOT TO C				
		7 乳製品の生産量(1月~12月)及	び年末在庫量 (12月31	日現在)					単位: kg
		7,554,87 = 12 + 7,7 + 12,7 + 12	1					'nん	
		区 分 全粉乳	脱脂粉乳 調製粉乳	パウダー	5, 9ンパク質 うち, 9ンパク質 含有量 含有量	バター ク	リーム チーズ うち,直f +fz-j1		以上のアイスクリーム (単位:kl)
		生産量(1月~12月)	記入あり	2	5%未満 25~45%				
		在庫量(合計)(12月31日現在)					F-b-b-t-R	nervania Arna Ka	A Im III a constant of the A and of the A
		在庫量(国産)(12月31日現在)				Æ	<ul><li>: 年末在庫量については、本社 必要はありません。</li></ul>	か侵数の上場・倉庫分を一括で	:把握している場合は記入する
	Ь,	在庫量(輸入)(12月31日現在)							
	22	バターの生産能力がないのにん	<b>バターの生産量が</b>	ある			調査客体に	確認してください。	
		6 生産能力(12月31日現在)							
			しの 能力 飲用牛乳等	はっ酵乳	粉乳	バタ-	クリー.	チーズ	れん乳
				(1/h)	(kg/h)	連続式 ( kg / h )	パッチ式 (1/a'yh) (kg/l	連続式 ( kg / h )	バッチ式 ( 1 / ハ´ット ) ( kg/パット )
		生産能力(12月31日現在)				記入な	<b>詳し</b>		
					_				
		7 乳製品の生産量(1月~12月	及び年末在庫量(12	月31日現在)					単位: kg
		区分全制	分乳 脱脂粉乳 調	製粉乳 ホエイ パウダー		72パク質 有量		ち. 直接消費用	はん 乳 期筋分8% 以上のアイス۶リーム (単位:kl)
		生産量(1月~12月)			25%未満 25~	記入あり			
		在庫量(合計)(12月31日現在)							In a least of the American Law
		在庫量(国産)(12月31日現在)					注:年末在庫量については、 必要はありません。	本社が複数の工場・倉庫分を-	一括で把握している場合は記入する
		在庫量(輸入)(12月31日現在)							

調査票項目	項 番				審査内容	}							対	処方法		
6 生産能力(12月31日現在) (つづき)	23	クリームの生産能力がな	いのにク	リームの	生産量が	ある					調査客体	に確認し	してくださ	い。		
		6 生産能力(12月31)	日現在)							<u> </u>						
		区分	生乳の 貯乳能力 ( t )		牛乳等 / h )	はっ酵乳 ( 1 / h )	粉乳 ( kg / )		バ 連続式 ( kg / h )	ター バッチ式 (1/ バット)	( kg		連続式 ( kg / h )	チーズ バッチ (1/ド		れん乳 ( kg/パット )
		生産能力(12月31日現在)									記入	なし				
		7 乳製品の生産量(1月~	12月)及び年	F末在庫量	(12月31日現	在)										単位:kg
		区分	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	うち, タンバク質 含有量 25%未満	うち、タンバク質 含有量 25~45%	バター	カリーム		ち,直接消費用 ナチュラルチース <sup>°</sup>	加糖れん乳	れん乳 無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8% 以上のアイスクリーム・(単位:kl)
		生産量(1月~12月)								107(0)						
		在庫量(合計)(12月31日現在) 在庫量(国産)(12月31日現在)	$\overline{}$							注 · 年末在庫量	トについては	木計 が複数	の工場・倉庫分	を一括で把握	している場合	は記入する
							I .					で エル・区外				
		在庫量(輸入)(12月31日現在)								必要はあり		不正"·汉弘				
	24			ズの生産	量がある					必要はあり	ません。		してくださ			
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在) チーズの生産能力がなし	日現在) 生乳の 貯乳能力	飲用	牛乳等	はっ酵乳	粉乳(肉)		連続式	必要はあり	調査客体	に確認し	してくださ	い。 デーズ バッチ		れん乳
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在)  チーズの生産能力がなし  6 生産能力(12月31日  区分	<b>日現在)</b> 生乳の	飲用	牛乳等	はっ酵乳 (1/h)	粉乳 ( kg / }			必要はあり   	調査客体	に確認し	してくださ っ 連続式 ( ku/h)	い。 		れん乳 ( kg/n゚ット )
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在)  チーズの生産能力がなし  6 生産能力(12月31日	日現在) 生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用(1	牛乳等 / h )	(1/h)	,		連続式	必要はあり	調査客体	に確認し	してくださ っ 連続式 ( ku/h)	い。 デーズ バッチ		kg/n^7+ )
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在)  チーズの生産能力がなし  6 生産能力(12月31日  区 分  生産能力(12月31日現在)  7 乳製品の生産量(1月  区 分	日現在) 生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用(1	牛乳等 / h )	(1/h)	,		連続式 ( kg / h )	必要はあり	ません。 調査客体 クリ (kg	- C確認し ム / h )	してくださ 連続式 (kg/h)	い。 デーズ バッチ (1) な れん乳		kg/n プト )   単位:kg   乳脂肪分8%   以上の7/439-A
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在)  チーズの生産能力がなし  6 生産能力(12月31日  区 分  生産能力(12月31日現在)  7 乳製品の生産量(1月  区 分  生産量(1月~12月)	日現在) 生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用 (1	牛乳等 / h ) 量 (12月31日	(1/h) 現在) <sub>ホエイ</sub>	( kg / } うち,タンパク質 含有量	うち, タンパンタii 合有量	連続式 ( kg / h )	必要はあり ター バッチ式 (1/ ^´ット)	ません。 調査客体 クリ (kg	に確認し ム / h )	してくださ 連続式 (kg/h)	い。 デーズ バッチ (1) な れん乳		kg/n プト
	24	在庫量(輸入)(12月31日現在)  チーズの生産能力がなし  6 生産能力(12月31日  区 分  生産能力(12月31日現在)  7 乳製品の生産量(1月  区 分	日現在) 生乳の 貯乳能力 ( t )	飲用 (1	牛乳等 / h ) 量 (12月31日	(1/h) 現在) <sub>ホエイ</sub>	( kg / } うち,タンパク質 含有量	うち, タンパンタii 合有量	連続式 ( kg / h )	ター     バッチ式 (1 / バッチ式 )	期 <b>査客体</b>	に確認( ム / h )	してくださ 連続式 (kg/h)	い。 チーズ バッチ (1/ が なし れん乳 無糖れん乳	脱孔用行力印物之人	単位: kg 単位: kg 乳脂肪分8% 以上のアイスタリーム (単位: k1)

調査票項目	項番			審査内容			対処方法
6 生産能力(12月31日現在) (つづき)	25	れん乳の生産能力がないの	にれん乳の生産	量がある			調査客体に確認してください。
		6 生産能力(12月31日現	(在)				
		区分	灯孔 1677	牛乳等 はっ酵乳 / h ) (1/h)	粉乳 ( kg / h )		[ [ [ ] ] ] [ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [
		生産能力(12月31日現在)					
		7 乳製品の生産量(1月~12	月)及び年末在庫量	(12月31日現在)			単位: kg
		区分	全粉乳 脱脂粉乳	調製粉乳 ホエイ パウダー	うち, タンパク質 含有量 25%未満 25~45% バタ	ー クリーム	カーズ うち、直接消費用 か糖れん乳 無糖れん乳 脱脂加糖れん乳 (単位:kl)
		生産量(1月~12月)					記入あり
		在庫量(合計)(12月31日現在) 在庫量(国産)(12月31日現在)				注:年末在屆	車量については、本社が複数の工場・倉庫分を一括で把握している場合は記入する
		在庫量(輸入)(12月31日現在)				必要はお	ありません。
7 乳製品生産量(1月~12月)及び年末在庫量(12月31日現在)	26	『ホエイパウダー』が『う 以上となっていること 7 乳製品の生産量(1月~1 区 分 生産量(1月~12月) 在庫量(合計)(12月31日現在) 在庫量(陶産)(12月31日現在) 在庫量(輸入)(12月31日現在)		<b>量</b> (12月31日現在)	うち, タンバク質 うち, タンパク質 ct	ター クリーム 注: 年末花	大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認してください。         単位:kg         すった。直接消費用 方 5 5. 直接消費用 方 5 5. 直接消費用 方 5 5. 直接消費用 加糖 1 ん 乳 無糖 1 ん 乳 以上の7(スタラーム (単位:kl)         無糖 1 ん 乳
	27	『在庫量(合計) (12月31 (輸入) (12月31日現在)			 (12月31日現在)』+『右	王庫量	一致しない場合は、調査客体に確認してください。
		7 乳製品の生産量(1月~12月)	及び年末在庫量 (12	2月31日現在)			単位:kg
		区 分 全粉	乳 脱脂粉乳 調	パウダー	5, タンパク質 うち, タンパク質 バター 合有量 含有量 25%未満 25~45%	クリーム	オーズ     うち.直接消費用 けュラルチース*     加糖れん乳     無糖れん乳     製脂加糖れん乳       収止のアイスリーム (単位: k1)
	1 ⊢	生産量(1月~12月) 在庫量(合計)(12月31日現在)					
	I ⊢	在庫量(国産)(12月31日現在)			11 1 1 1	注:年末在庫量に 必要はありま	こついては、本社が複数の工場・倉庫分を一括で把握している場合は記入する ません。
	[	在庫量(輸入)(12月31日現在)				~ 3.100//0	

なお、審査事項一覧表は変更する場合がある。

# 3 月別調査票

	田 弟 身 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	乳脂肪分8%以	× 1	(イ) の内駅   年乳の近理量 (イ) の内駅   日本(イ) (ウ) + (コ)   日	文字で記入してくだされ、直接機模で語入に当たっては以下の   2   3   4   5   6   7   7   7   7   7   7   7   7   7	/ □ □ □	# A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	注放   注放   注放   注放   注放   注放   注放   注放
この題色駅は、直接機製の網やとりますのは、汚したりしないなへださい。	1	1	19   19   19   19   19   19   19   19	ш П.	<ul><li>、直接機械で読みとりまご入に当たっては以下の</li><li>0 1 2 3 4 5</li></ul>	つ 参 で が で ご	三	場合には消し	できれいに	, r
また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴム記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	生現の迷療乳療及が構成・	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	1	査 年 調査月	<del>]  </del>	鈽		記入者	氏名	
また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに 記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	### (1) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (4) (5) (5) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	14月の近後 1			20000				
また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに 記入見本 0 1 2 8 4 5 6 7 8 9 調査月 都道府県 管理番号 エ 場 2 2 3 4 5 6 7 8 9	Manufacture   Color   Manufacture   Manu	(4) O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	(1)   (1	生乳の送受乳量及び繰越、		してください。)	H	)	II	単位:
# また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にて黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消してください。 中乳乳製品統計	(1) の内限	10   10   10   10   10   10   10   10	1	一	現内から(ウ)			分別   分割   一 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	#\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(少) 画
# 表現製品統計	# 通過呼吸を 受	(2) OAR   10   10   10   10   10   10   10   1	(2)							
####################################	###   ###	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	の内景	(エ)の内訳	•	# 位: t	の内訳		単位: t
# 表 、 数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消してください。 中乳乳製品統計	### ### ### ### ### #### ############	### ### ### ### ### ### #### #########	1	受乳	都道府県名	工場・処理場名		都道府県名		
#	### ### ### ### ### ### #### #########	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	上生乳の発酵機 (トン甲状では入してください。)							
また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消してください。	### ### ### ### #####################	### 1	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1::						
##MILESIC ANNOUNT	生乳の処理量	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	### 1							
第20   第2   第2   第2   第2   第3   第3   第3   第3	生乳の処理量 (トン単位で記入してください。)   りも、業務用的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、チーズ的け   うち、水(カーウ) + (コーウ) + (コーウ) + (コーウ) + (コーウ)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	### (Particle 1997)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	### (P) ###							
##2   2   3   4   5   6   7   8   9   2   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   4   5   6   7   8   9   3   3   3   3   3   3   3   3   3	生乳の処理量 (トン単位で配入してください。)   55、 #   4   4   4   4   4   4   4   4   4	# 2   1   1   1   1   1   1   1   1   1	### (P) ***							
第2   1   1   2   3   4   5   5   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   1   2   3   4   5   6   7   8   9   2   2   3   4   5   6   7   8   9   2   2   2   3   4   5   6   7   8   9   2   2   2   3   4   5   6   7   8   9   2   2   2   2   3   4   5   6   7   8   9   2   2   2   2   2   2   2   2   2	生乳の処理量 (トン単位で記入してください。)	(中央)の処理量 (トン単位で記入してください。)	生乳の処理量 (トン明代で四人してください。)   1   1   1   1   1   1   1   1   1							
第二	生乳の処理量 (トン単位で配入してください。)       処理 内 原         生乳の処理量 (トン単位で配入してください。)       処理 内 原         生乳処理量 (キー乳等向け (ナー・)・(の)・(の)・(の)・(の)・(の)・(の)・(の)・(の)・(の)・(	(キャリの処理機 (キャルをで置入してください。)	(本書)の処理量 (キン州代で巨人してください。)							
第二	(オ)-(カ)+(カ) (カ) (カ) (カ) (カ) (カ) (カ) (カ) (カ) (カ)	中央等の生産機 (キロリットル規模で記入してください。)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	中央等の生産機 (キロリットル側で記入してください。)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	生乳の処理量 (トン単位で記	てくだない。	- 1	- 1		単位	 e
1	牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)         飲用牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)         飲用牛乳等のお道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)         飲用牛乳等の都道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)         お通行県名 計	中央等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)       現	中央等の生産量 (キロリットル側で記入してください。)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	+(A)+(B)+(B)-(B)		煙品回け	# 1	٥ ا ر ا	Х	
第二、	牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)         飲用牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)         放用牛乳等のお道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)         番号 都道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)         番号 都道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)	中 乳	中 乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)					······ \		
TRICLES (	株	(フ)	(ウ)+(コ)	牛乳等の生産量 (キロリット	単位で記入してく	· )				単位:k
	# 中 年 周	## 中 現	(ウ) + (コ)   (ウ)   (o)   (o)   (o)   (o)   (o)   (o)   (o		飲 用 牛	1 1		ř.	74 M	1
第二	飲用牛乳等の都適府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)         番号 都適府県名 門	飲用牛乳等の都道府県別田荷量 (キロリットル単位で記入してください。)           番号 前頭所県名 計 目 原 原 日 原 日 原 日 原 日 原 日 原 日 原 日 原 日 原 日	(中中乳等の都道病果別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)	平 年 発 (ケ)	業務用	$\neg$	業務用	乳飲	が	乳酸菌飲料
(イ) の内限	飲用牛乳等の都道府県別出荷量 (キロリットル単位で記入してください。)	飲用牛乳等の都造府県別出荷量       (キロリットル単位で配入してください。)         番号       都通所県名       計         出 費       計       1         出 費       1       1         出 費       1       1         工 規       1       1         工 財       2       1         工 財       2       1         工 財       2       1         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 財       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2         工 日       2       2	飲用牛乳等の都道府県別出荷量 (キロリットル単位で配入してください。)         #9       都道府県別出荷量 (キロリットル単位で配入してください。)       1 <t< td=""><td></td><td>· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td><del>                                     </del></td><td></td><td>⊢</td><td></td><td></td></t<>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<del>                                     </del>		⊢		
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	#P	##	##	飲用牛乳等の都道府県別出	■ (キロリットル単	耐入してください。				単位: k
(土) の内閣   (大) の内閣   (大	日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	田 御 乗	###	都道府県名 計	自県					
(4) DOME   (5) DOM	号 都道府県	#89   #8道府県名	# 8	日荷量 : : :						
Table   Ta		円御銀       : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	田 御 童 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	号 都道府県						
(2) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		全物乳       脱脂物乳       測製物乳       ホエイパウダー       55、タンパク質含有重 35、タンパク質含有重 25、タンパク質含有重 25、タンパク質含有重 25、タンパク質含有重 25、45%         ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	全物乳 脱脂物乳 調製物乳 ホエイパウダー 55、タンパの質含有量 55、タンパの質な 55、タンパの質な 55、タンパの質な 55、タンパの質な 55、タンパの質な 55、タンパの変 55、タンパの変 55、タンパの質 5	乳製品の生産量及び月末在	量 (キログラム単位	てください。た	し、アイスクリー	リットル単位	てください。	単位:kg
第2	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイヌクリームはキロリットル単位で記入してください。)	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1	分 全粉	脂粉	楚参	ナインプ	Ω <sub>+</sub> Ω,	含有量	タンパク質25~45%
Table   Ta	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)     単位       区分     全粉乳     脱脂粉乳     調製粉乳     ホエイパウダー     うち、タンパク質含有量 つち、タンパク質含不量 25~45%		パター   クリーム	申     						
100   10	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       金粉乳       拠脂粉乳       調製粉乳       ホエイパウダー       5ち、タンパク質含有量 5ち、タンパク質含有量 25~45%         生産量 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :									
	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       全粉乳       販脂粉乳       調製粉乳       ホエイパウダー       うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 25~45%       生産量 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	バター クリーム チーズ うち、直接消費用 加糖れん乳 無離れん3 	パター   クリーム	在庫量(国産)						
	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       全粉乳       販脂粉乳       調製粉乳       ホエイパウダー       うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質素の合物)       25~45%         生産量(部)       ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	A	変換     パター     クリーム     チーズ     55、直接消費用     加 糖 れ ん 乳     無 糖 れ ん 乳       原産     : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	江市風(明)//						
	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       全粉乳       服脂粉乳       調製粉乳       ホエイバウダー       うち、タンバク質含有量 うち、タンバク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質温を含まり。         生産量       : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	<ul><li></li></ul>	<ul> <li>産量::::::::::::::::::::::::::::::::::::</li></ul>	*	1	1	-	加糖	<b>た</b> 乳	善さっ
A. R. NO CALLA AND   A. R. NO CALLA AND CALLAR PROPERTY AND CA	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       全粉乳       膨脂粉乳       調製粉乳       ホエイパウダー       5ち、タンパク質含有量 5ち、タンパク質含有量 25~45%       40~45%         生産量 (輸入)       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選	順 量 : : : : : : : : : : : : : : : : : :							
20.	<b>乳製品の生産量及び月末在庫量</b>	乳脂肪分8%以	分         脱脂加糖れん乳         乳脂肪分8%以           プイスクリー         (単位:kl)	孫 卿	/	/   <del></del>		/	/ -	
1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.   1.	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)       単位         区分       全粉乳       拠脂粉乳       調製粉乳       ホエイパウダー       5ち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質素を含まります。         生産量の(部入)       (日本の)       (日	公 照用計構せ / 凶 レノレッニー	プロ のたの日 メル 祭日 4 こ アンチム	所   所   所   所   所   所   所   所   所   所			<u>.</u>	<u>.</u>	Į	
A	乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で配入してください。) 単位         区分       全物乳       脱脂物乳       ボエイパウダー       うち、タンパク質合有限 うち、タンパク質の有限 うち、タンパク質の表別に関係の入)         工業((輸入)       (日本の人)       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	産量 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :		底量 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	助分8%以 イスクリー (単位:kl)					

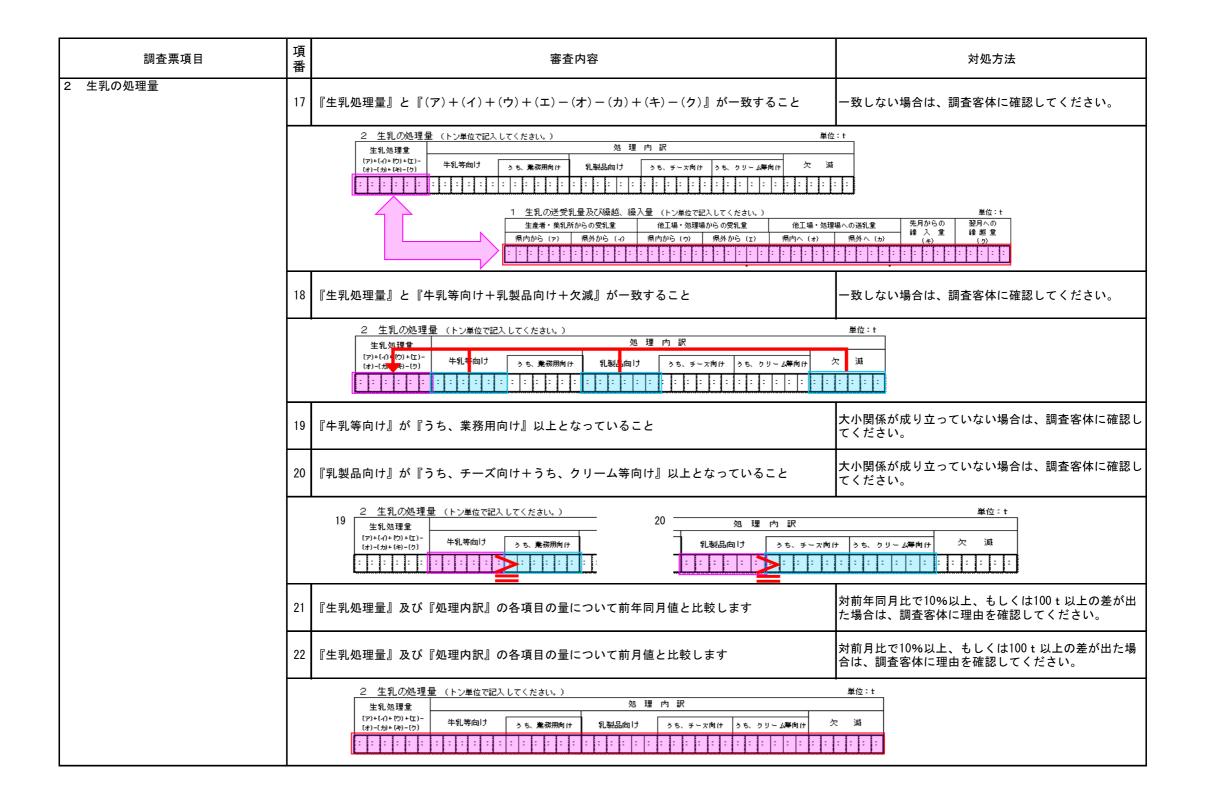
# 4 月別調査票の審査

調査票項目	項番	審査内容	対処方法
コードの転記	1	調査項目にある「都道府県名」、「処理場・工場名」のコードについては、農林水産省が貸与 した「牛乳乳製品統計調査 牛乳処理場・乳製品工場一覧表」に記載されている「県番号」、 「工場・処理場番号」を転記してください。	各コードを牛乳処理場・乳製品工場一覧表で確認してください。
指標部	2		各コードを牛乳処理場・乳製品工場一覧表で確認してください。
		調査年 調査月 都道府県 管理番号 工 場	
1 生乳の送受乳量及び繰越、繰入量	3	『県外から(イ)』と『(イ)の内訳』の受乳量の合計が一致していること	一致しない場合は、調査客体にどちらが正しいか確認し てください。
	4	『県外から(エ)』と『(エ)の内訳』の受乳量の合計が一致していること	一致しない場合は、調査客体にどちらが正しいか確認し てください。
	5	『県外へ(カ)』と『(カ)の内訳』の送乳量の合計が一致していること	一致しない場合は、調査客体にどちらが正しいか確認し てください。
		1 生乳の送受乳量及び繰越、繰入量 (トン単位で記入してください。)         生産者・集乳所からの受乳量 他工場・処理場からの受乳量 原内から(ア) 原外から(イ) 原内から(ウ) 原外から(エ) 原内へ(オ) 原外へ         ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	(カ)

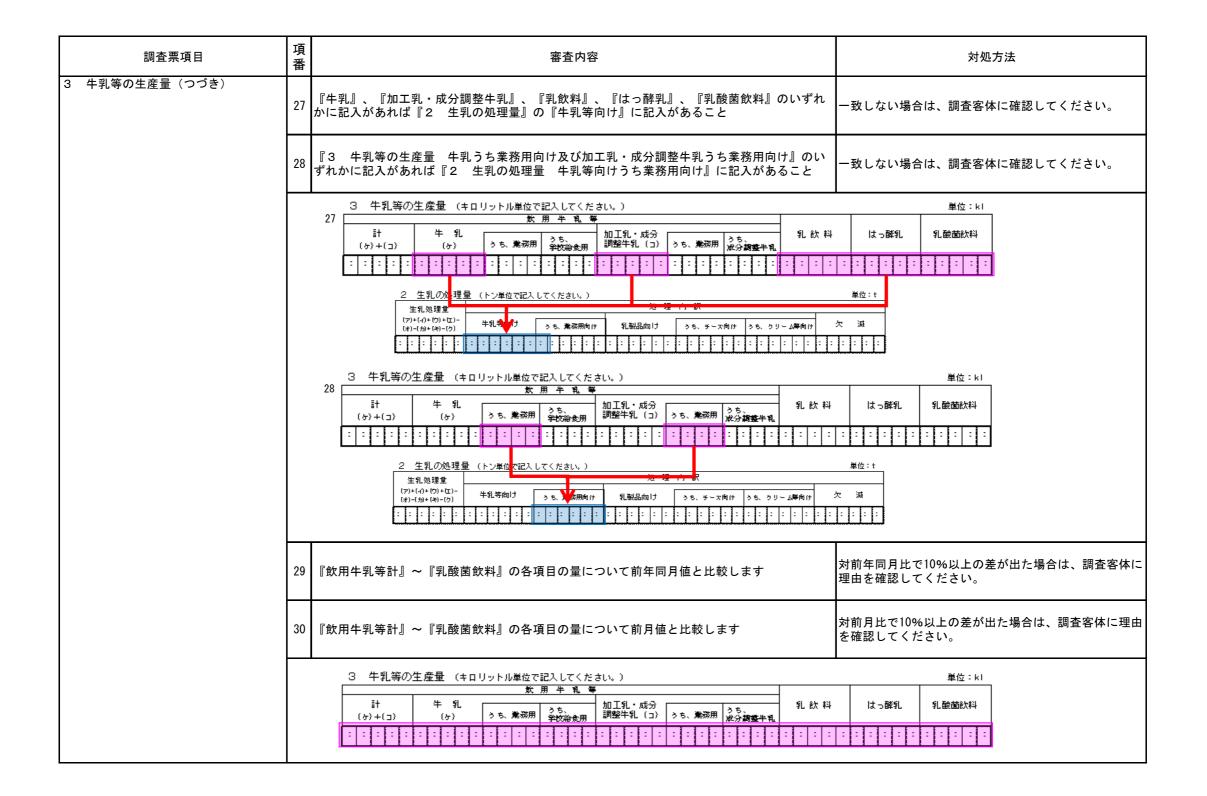
調査票項目	項 番	審査内容	対処方法						
1 生乳の送受乳量及び繰越、繰入量 (つづき)	6	『県内から(ア)』~『翌月への繰越量(ク)』の各項目の量について前年同月値と比較します	対前年同月比で10%以上、もしくは100 t 以上の差が出た場合は、調査客体に理由を確認してください。						
	7	『県内から(ア)』~『翌月への繰越量(ク)』の各項目の量について前月値と比較します	対前月比で10%以上、もしくは100 t 以上の差が出た場合は、調査客体に理由を確認してください。						
		1 生乳の送受乳量及び繰越、繰入量 (トン単位で記入してください。)  生産者・集乳所からの受乳量 他工場・処理場からの受乳量 他工場・処理場への送乳量 県内から (ァ) 県外から (ィ) 県内から (ワ) 県外から (エ) 県内へ (ォ) 県外へ (カ)	単位:t 先月からの 翌月への 繰 入 章 繰 越 章 (*)						
1 (イ)の内訳	8	『b』と指標部『a』が一致しないこと	(イ)の内訳は県外からの受乳量なので指標部『a』と同じコードが『b』に記入されることはありません。						
	9	『b』があって、『c』が空欄となっていないか、又はその逆	『b』に記入がある場合『c』へ数値が記入されている 必要があります。 (その逆も) 空欄の場合は、調査客体に確認してください。						
	10	調査月から前12ヶ月の間に、取引実績がない都道府県名が記入されている場合	間違いがないか、調査客体に確認してください。						
		調査 年 調査月 都道府県 センター 工 場 記入者氏名							
		4 Hall O Windle Provider 48 3 B	M. L.						
		1 生乳の送受乳量及び繰越、繰入量 (トン単位で記入してください。) 生産者・集乳所かるのが利量 他工場・処理場からの受乳量 他工場・処理場への送乳量 先月から	単位:t の						
		Repart							
		(人) の内訳 <b>↓</b> 単位: □ (エ) の内訳 <b>↓</b> 単位: □ (カ) の内訳 <b>↓</b>	単位:τ						
		# 単位: t (五) のNar							

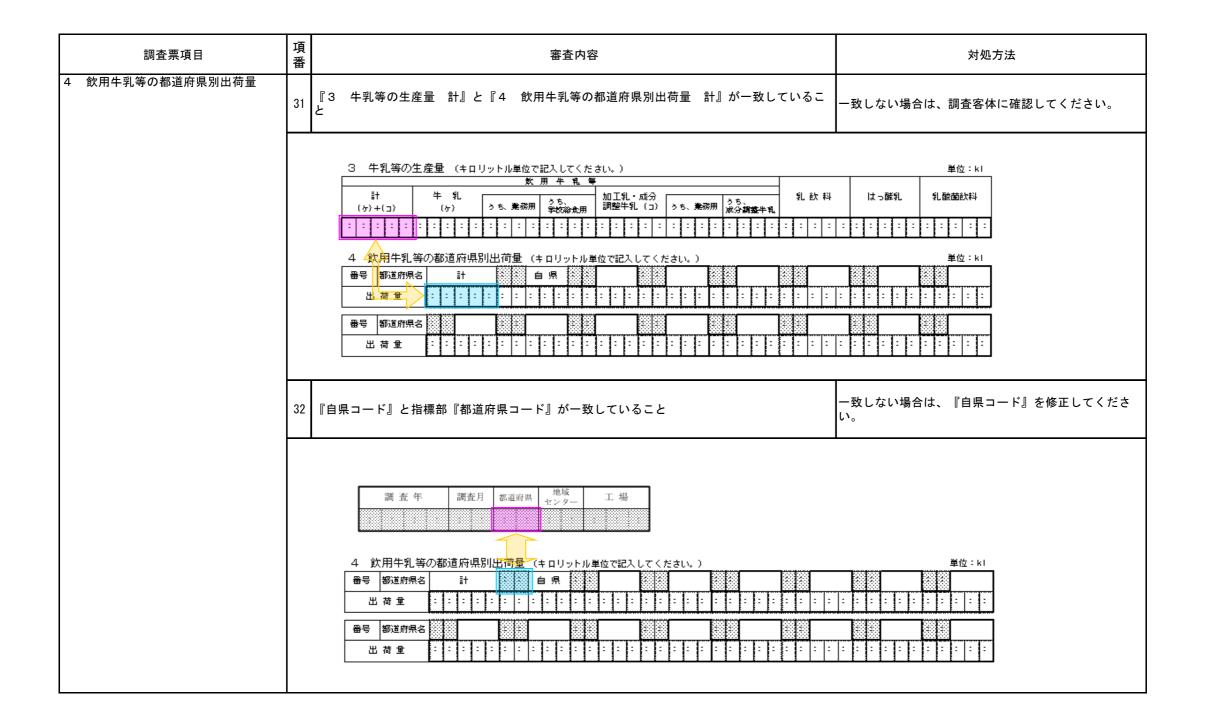
調査票項目	項番	審査内容	対処方法							
1 (エ)の内訳	11	『b』と指標部『a』が一致しないこと		(エ)の内訳は県外他工場からの受乳量なので指標部 『a』と同じコードが『b』に記入されることはありません。						
	12	引一行上の『b』、『c』、『d』の全てに記入があること	『b』、『c』、『d』のいずれかに記入がある場合、同一行上の全てに記入されている必要があります。 いずれかが空欄となっている場合は、調査客体に確認してください。							
	13	月査月から前12ヶ月の間に、取引実績がない都道府県名又は処理場・工場名が記入る	されている場	間違いがないか、調査客体に確認してください。						
		調 査 年 調査月 都道府県 センター 工 場 記入者に 2 日本 2 日	<b>元名</b>	単位: t						
		生産者・集乳所からの受乳量   他工場・処理場からの受乳量   他工場・処理場からの受乳量   機工場・処理場からの受乳量   乗内から (ア)	先月からの 繰入量 (キ)	翌月への						
		(イ) の内訳 ↓ 単位: t (カ) の内訳 ↓ 単位: t (カ) の内訳	<b>\</b>	単位: τ						
		都道府県名 受 乳 量 都道府県名 工場・処理場名 受 乳 量 都道府県名	工場・処理場名	送 乳 量						
				<u> </u>						

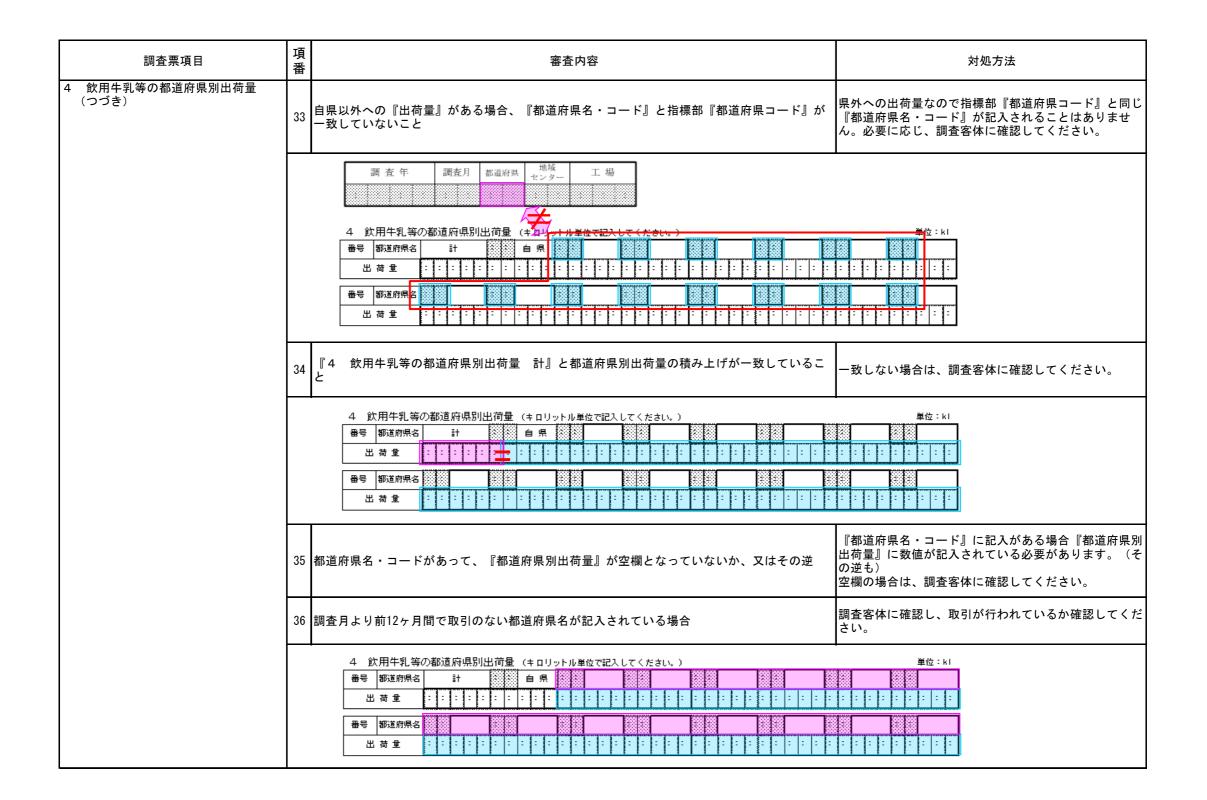
調査票項目	項番	審査内容		対処方法
1 (カ)の内訳	14	『b』と指標部『a』が一致しないこと	(カ)の内訳は県外への送乳量なので指標部『a』と同じコードが『b』に記入されることはありません。	
	15	同一行上の『b』、『c』、『d』の全てに記入があること	『b』、『c』、『d』のいずれかに記入がある場合、同一行上の全てに記入されている必要があります。 いずれかが空欄となっている場合は、調査客体に確認してください。	
	16	調査月から前12ヶ月の間に、取引実績がない都道府県名又は処理場・工場名が記入され	ている場	<b>昜間違いがないか、調査客体に確認してください。</b>
		調査月     都道府県 センター エ 場 記入者氏名       1     生乳の送受乳量及び繰越、繰入量 トン単位で記入してください。)       生産者・集乳所からの受乳量 他工場・処理場への送乳量	先月か! 繰 入	
		<ul> <li>県内から (ア)</li></ul>	(キ) (土) 工場・処理場	) (ク) ::::::::::::::::::::::::::::::::::::
			C.	
			\ <u></u>	

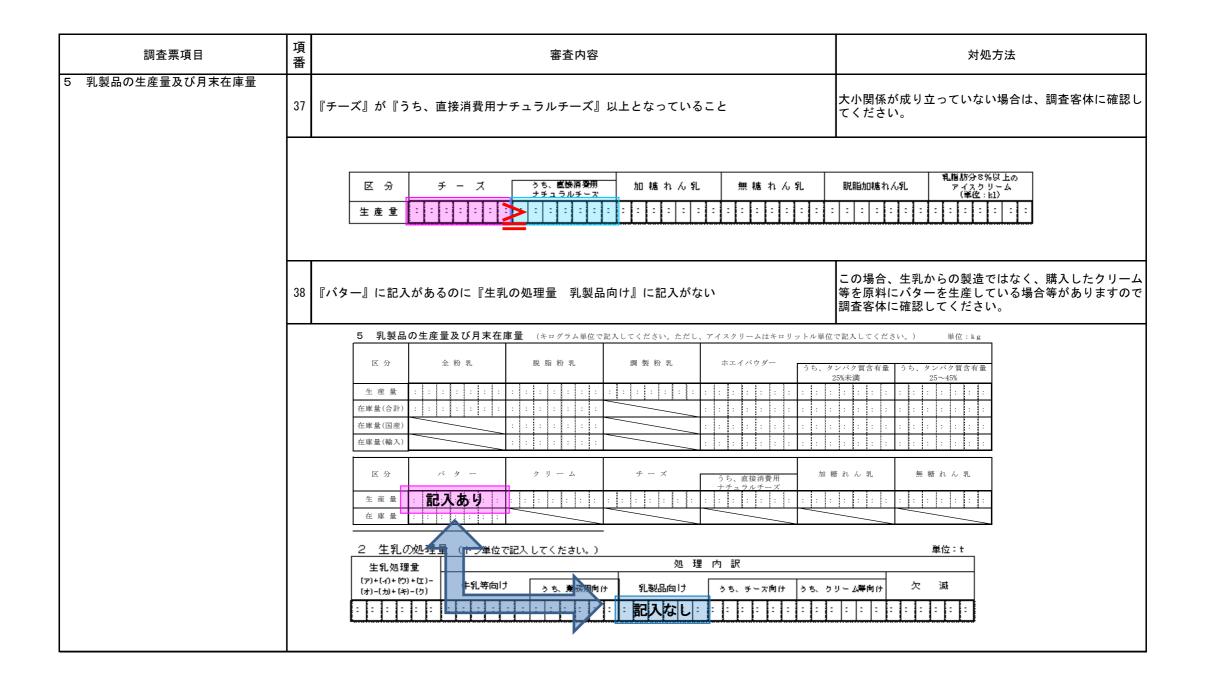


調査票項目	項番	審査内容	対処方法
3 牛乳等の生産量	23	『計』と『牛乳(ケ)+加工乳・成分調整牛乳(コ)』が一致すること	一致しない場合は、調査客体に確認してください。
	24		大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認してください。
	25	『加工乳・成分調整牛乳』が『うち、業務用』以上となっていること	大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認してください。
	26	大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認してください。	
		3 牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)       23	単位:kl 単和 乳酸菌飲料
		3 牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してくたさい。)       24       計 牛乳 (ケ)+(コ) (ケ) うち、業務用 うち、実務用 うち、実務用 かち、連分調査牛乳       ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	単位:kI はっ鮮乳 乳酸菌飲料 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::
		3 牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。)       25       計 牛 乳 (ケ)+(コ) (ケ) うち、業務用 字枚常魚用 (サイリー) (ケ) うち、業務用 字枚常魚用 (コ) うち、業務用 ぶ分割整牛乳 (コ) うち、業務用 ぶ分割整牛乳 (コ) また (カーボーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位:kI
		3 牛乳等の生産量 (キロリットル単位で記入してください。) <u>飲用牛丸 電</u> 計 牛乳 (か)+(コ) (か) うち、風味用 うち、調整牛乳 (コ) うち、風味用 がなり開発料 (コ) こうち、風味用 がなり開発料 (コ) こうち、風味用 がなり開発料 (コ) こうち、風味用 (カラ	型位:kl









調査票項目	項番	審査内容	対処方法					
5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (つづき)	39	『クリーム』に記入があるのに『生乳の処理量 乳製品向けうち、クリーム等向け』に記入がない	この場合、成分調整牛乳の製造工程で発生したクリーム を再調整している可能性等がありますので、調査客体に 確認してください。					
		5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリット/区分 全粉乳 脱脂粉乳 調製粉乳 ホエイパウダー う: 在庫量(合計)::::::::::::::::::::::::::::::::::::	5. タンパク質含有量 25%未満 25~45%       ::::::::::::::::::::::::::::::::::::					
	40	『クリーム』に記入がないのに『生乳の処理量 乳製品向けうち、クリーム等向け』に記入が ある	この場合、生乳がクリーム以外の濃縮乳、脱脂濃縮乳に 仕向けられた可能性等がありますので、調査客体に確認 してください。					
		5 乳製品の生産量及び月末在庫量(キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単区 分 全 粉 乳 脱脂 粉 乳 調製 粉 乳 バ タ ー ク リ 生産 量 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ーム 単位: kx  本 じ 目  和 版					

調査票項目	項番	審査内容
5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (つづき)	41	『チーズ』に記入があるのに『生乳の処理量 乳製品向けうち、チーズ向け』に記入がない 「まって」に記入があるのに『生乳の処理量 乳製品向けうち、チーズ向け』に記入がない ますので調査客体に確認してください。
		5 乳製品の生産量及び月末在庫量(キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。)         区 分 全 粉 乳 脱脂 粉 乳 調製 粉 乳 バ タ ー ク リ ー ム         生産 量 : : : : : : : : : : : : : : : : : :
		2 生乳の処理量 (トン単位で記入っください。)       単位:t         生乳処理量 (ア)+(-(-)+(*))+(*)-(*) (オ)-(カ)+(*)-(*) (オ)-(カ)+(*)-(*) (オ)-(カ)+(*)-(*) (オ)-(カ)+(*) (オ)-(カ) (オ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ)-(カ
	42	『チーズ』に記入がないのに『生乳の処理量 乳製品向けうち、チーズ向け』に記入がある 産している可能性等がありますので調査客体に確認してください。
		5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。ただし、アイスクリームはキロリットル単位で記入してください。) 単位:kg
		区 分 全 粉 乳 脱 脂 粉 乳 調 製 粉 乳 ホエイバウダー うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 25%未満 25~45%
		生産量(合計)     : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
		区分     バター     クリーム     チーズ     うち、直接消費用 ナチュラルチーズ     加糖れん乳     無糖れん乳       生産量     : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
		在庫量:::::::
		2 生乳の処理量 (トン単位で記入してください。)       単位: t         生乳処理量 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)- (ナ)- (ナ)- (ナ)- (ナ)- (カ)+(ネ)-(ウ)       少理内         (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)- (ナ)- (ナ)- (ナ)- (ナ)- (カ)- (カ)- (カ)- (カ)- (カ)- (カ)- (カ)- (カ

調査票項目	項番			審査内容	対処方法							
5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (つづき)	43	『全粉乳』〜『アイ <i>:</i> す	スクリーム』の各項	項目の生産量及で	び在庫量について	〔前年同月値とよ	北較しま	対前年同月比で10%以上 理由を確認してください	の差が出た場合は、調査客体に \。			
	44	『全粉乳』~『アイス	スクリーム』の各エ	項目の生産量及で	び在庫量について	「前月値と比較し		対前月比で10%以上の差 を確認してください。	が出た場合は、調査客体に理由			
		5 乳製品	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
		区分	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	うち、タン/ 25%:					
		生産量(合計)					: : : : :					
		在庫量(国産) 在庫量(輸入)		: : : : : : : : : : : : : : : : : : :		: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	: : : : : : :					
		区分	バター	<b>ру</b> — Д	チーズ	うち、直接消費用ナチュラルチーズ	加糖力	れん乳 無糖れん乳				
		生産量在庫量										
		区分	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分8%以上の アイスクリーム (単位:kl)								
		生産量注:月末在庫	量については、本社が複数の	工場・倉庫分を一括で把握	<b>を</b> している場合は記入する必	要はありません。						

調査票項目	項番			審査内容			対処方法
5 乳製品の生産量及び月末在庫量 (つづき)	45	『ホエイル 45%』以 <sub>-</sub>	パウダー』が『うちタン ことなっていること	ノパク質含有量25%未満	』+『うちタンパク質	含有量25~	大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認し てください。
	5	乳製品	の生産量及び月末在	車量 (キログラム単位で	記入してください。ただし、	アイスクリームはキ	テロリットル単位で記入してください。) 単位:kg
		区分生産量	全 粉 乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	- うち、タンパク質含有量 うち、タンパク質含有量 25%未満 25~45% : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
	在在	E庫量(合計)				: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	
	在	E庫量(輸入)				:  :  :  :  :	
	46	『在庫量	(合計) 』が『在庫量	(国産)』+『在庫量(	輸入)』が一致するこ	と。	一致しない場合は調査客体に確認してください。
	5	5 乳製品	の生産量及び月末在 	庫量 (キログラム単位で	記入してください。ただし 	、アイスクリームは:	キロリットル単位で記入してください。) 単位:kg
	_	区分	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	うち、タンパク質含有量
	l ⊢	生産量(合計) 生庫量(国産)					
	l ⊢	生庫量(輸入)					

### 月別調査票(本社用)

別記様式第3号(第5条関係)

5 1 4 1

秘

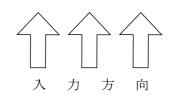
農林水産省

牛乳乳製品統計調査

月 別 調 査 票(本社用)(案)

(平成 年 月分)





統計法に基づく基幹統計

- ・記載は、1枠1文字で記入してください。
- ・網掛け部分は記入の必要はありません。
- 牛乳乳製品統計 ・この調査票は、直接機械で読みとりますので、汚したりしないでください。

また、数字の記入に当たっては以下の記入見本を参考にして黒い鉛筆を使用し、間違えた場合には消しゴムできれいに消してください。

記入見本

調査年	調査月	都道府県	管理番号	工場	記入者氏名

#### 乳製品の月末在庫量 (キログラム単位で記入してください。)

単位: kg

区分	全粉乳	脱脂 粉乳	バター
在庫量(合計)	: : : : : : :	: : : : : : :	: : : : : : :
在庫量(国産)			
在庫量(輸入)			

D 八			4.	- / )	ペウタ	<i>T</i> .																		
区分			11/-	ムイノ	・ワク	× —			う	ち、	タン	パク	質含	有量2	5%未	満	う	ち、	タン	パク	質含	有量2	5~4	15%
在庫量(合計)	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
在庫量(国産)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
在庫量(輸入)		:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

注: 月末現在で、倉庫に在庫として存在している乳製品の実数量を記入してください。 帳簿上の動きではなく、実際の荷動きについて記入してください。

# 6 月別調査票(本社用)の審査

調査票項目	項番		審査内容	対処方法						
指標部	1	指標部に記入漏れ誤りがないか		各コードを牛乳処理場・乳製品工場一覧表で確認してく ださい。						
		調査年	調査月 都道府県 管理番号 工場							
乳製品の月末在庫量	2	『ホエイパウダー』が『うち々 45%』以上となっていること	ンパク質含有量25%未満』+『うちタンパク質含有量25~	大小関係が成り立っていない場合は、調査客体に確認してください。						
		乳製品の月末在庫量(キ	コグラム単位で記入してください。)	単位:kg						
		区分	全粉乳 脱脂粉乳	バター						
		在庫量(合計)	:  :  :  :  :  :  :  :  :  :  :  :  :  :							
		在庫量(国産)								
		在庫量(輸入)								
		区分	ホエイパウダー うち、タンパク質含有量25%	%未満 うち、タンパク質含有量25~45%						
		在庫量(合計)	: : : : : : : : : : : : : : : : : :							
		在庫量(国産)								
		在庫量(輸入)	<u>:  :  :  :  :  :  :  :  </u> :  :  :  :  :  :  :							

調査票項目	項番		審査内容		対処方法					
乳製品の月末在庫量(つづき)	3	『在庫量(合計)』が『在庫』	量(国産)』+『在庫量(輸入)』が一3	致すること。	- 一致しない場合は調査客体に確認してください。					
		乳製品の月末在庫量(キャ	ログラム単位で記入してください。	)	単位	: kg				
		区分	全 粉 乳	脱脂粉乳	L	バター				
		在庫量(合計)	: : : : : : :	: : : : :	: : :	: : : : : : : :				
		在庫量(国産)		: : : : :	: : :					
		在庫量(輸入)		: : : : : :	: : :					
		区分	ホエイパウダー	うち、タンパク質含有	<b>丁量25%未満</b>	うち、タンパク質含有量25~45%				
		在庫量(合計)	: : : : : : :	: : : : :	: : :	: : : : : : :				
		在庫量(国産)	: : : : : : : :	: : : : !	: : :	: : : : : : : :				
		在庫量(輸入)	: : : : : : :	: : : : :	: : :					

なお、審査事項一覧表は変更する場合がある。

# 7 月別調査 集計値の審査

審	査	項	囯	審	査	内	容	対		処	方	法
工場の送受		おける	る生乳	電子化され おける生乳の	た調査票デー 送受乳量が-			から生乳の送受 う。	受乳量の確認 客体に確認に	図を行い、 <i>。</i> は行ったもの	必要に応じて のの、送受乳	れぞれの調査客体報告値の修正を行量が一致しなかっ を仰ぐ。
生乳	上産	量		電子化され 結果から求め 生乳生産量が いる都道府県 確認	た推計値となる。 、指定生産者	いら求めた者 皆団体等が耳	反りまとめて	は、前年調査男確認するとともなお、確認を	票データ等を っに、必要に と行ったもの	を活用し、 に応じて報行 のの、指定	生乳の送受乳 告値の修正を 生産者団体等	回っている場合に についての実態を 行う。 の生乳生産量を下 し、指示を仰ぐ。

# 8 (第1報作成編)集計ミス等の確認(月別調査)

審査項目	審 查 内 容	審査の留意点	対 処 方 法
	<ul><li>○各項目の県計値の対前年同月、対前月比較による増減要因の確認</li></ul>	○調査票値の積み上げが間違っていないかを確 認。	調査票データ、集計 データを再確認し、 必要に応じて調査客
	<ul><li>○各項目の全国値の対前年同月、対前月比較による増減要因の確認</li></ul>	○県計値の積み上げが間違っていないかを確認。	体に確認を行いデータの修正を行うとと もに、審査内容につ
集計ミス等の確認	○在庫量集計値の増減要因の確認	○調査票値の積み上げが間違っていないかを確 認。	いては複数人による ダブルチェックを行 う。
	○統計表の各項目間の数値の整合性を確認	<ul><li>○統計表の全国計と都道府県計とが一致している か等、項目間の整合性を確認。</li></ul>	
	○統計表の累年データのロールイン・ロールアウトを 確認	<ul><li>○ロールインロールアウトが調査年、調査月と一致しているかを確認。</li></ul>	

# 9 (第1報作成編)集計ミス等の確認(基礎調査)

審査項目	審 查 内 容	審 査 の 留 意 点	対 処 方 法
	○各項目の全国値の対前年比較による増減要因の確認	違っていないかを確認。	調査票データ、集計データを再確認し、 必要に応じて調査客
集計ミス等の確認	○統計表の計と内訳の整合性を確認	〇計を内訳の合計が一致しているかを確認。	体に確認を行いデータの修正を行うとともに、審査内容については複数人による
	○統計表の累年データのロールイン・ロールアウトを 確認		ダブルチェックを行う。

### 10 (報告書統計表作成編)集計ミス等の確認(報告書)

審査項目	審	查	内	容	対 処 方 法
集計ミス等の確認	○表側の年次、月次等の表記に ○概数値公表以降にデータの修		のデータが確実に集	計値に反映されているかを確認	集計データを再度確認の上、審査内容については複数人によるダブルチェックを行う。

# (秘)平成 年 牛乳乳製品統計調査 疑義照会状況 (基礎調査)

No.

			調査	至 (	の指	標欄			
No	月日	応対時 間(分)	県番	号	I	場	照会内容	回答内容	備考
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								
	/								

# (秘)平成 年 牛乳乳製品統計調査 疑義照会状況 (月別調査)

No.

							_	
NI.		応対時	調査	漂0	D指標欄	四人中京	同效中态	/# <del>*</del>
NO	ДП	間(分)	県番	号	D指標欄 工場	照会内容	回答内容	備考
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							
	/							

ロヘ			が、		刀寸小八一乙	
1	従来の	実施に要した経済	費		(単位:千円)	
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	
(	農林水産	省)				
	人件費	常勤職員	104	104	103	
	(基礎)	非常勤職員	_		l	
	人件費	常勤職員	_			
	(月別)	非常勤職員	_			
	物件費(	郵送料含む。)	108	335	309	
	委託費	調査協力謝金	7, 856	10, 572	9, 902	
	安癿負	民間事業者委託費	5, 578	10, 522	10, 522	
	計	(a)	13, 646	21, 533	20, 836	
参考	減価償却	費	1	1	1	
値(	退職給付	費用	13	15	15	
þ	間接部門	費	13	14	14	
	(a)	+ (b)	13, 673	21, 563	20, 866	
	``` <del></del>					

(注記事項)

- 1. 業務の実施期間は1月から12月までの1年間である。
- 2. 人件費、減価償却費、退職給付費用、間接部門費については、今回新たに委託 する「母集団整備に係る業務」に要した経費を計上している。 各項目の内容は以下のとおり。
  - ・人件費 内訳は、基本給、諸手当、社会保険料等である。
  - 物件費

物件費については、今回新たに委託する業務に要した経費と実費払いの郵送料を計上している。

新たに委託する業務に要した経費は、備品費、消耗品費、被服費、光熱費、通信費、借料、保守料を計上。(調査に直接利用する費目のみ計上。)

平成25年度に要した郵送料は99,720円、26年度は326,633円、27年度は301,342円である。

• 委託費

委託費については、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律(平成18年法律第51号)に基づく民間競争入札による委託費及び実費払の謝金である。

平成25年度の民間事業者委託費は、複数年契約(平成22年11月1日から平成26年1月31日まで)の1調査年分(税込)、平成26年度及び27年度は複数年契約(平成25年11月1日から平成29年1月31日まで)の1調査年分(税込)であり、謝金及び郵送料は含まれていない。

平成25年度に要した謝金は7,856,260円、26年度は10,571,580円、27年度は9,902,040円である。

・減価償却費(建物) 定額法により算出。

2 従来の実	施に要した人員			(単位:人)	
		平成25年度	平成25年度 平成26年度		
常勤職員	基礎調査	0.0161	0. 0158	0. 0155	
	月別調査			_	
非常勤職員	基礎調査	_		_	
	月別調査	_		_	

#### (業務従事者に求められる知識・経験等)

- 統計調査、牛乳乳製品に関する知識、情報処理(パソコン操作)に関する知識、 調査対象企業、業界に関する予備知識
- 牛乳乳製品統計調査に関する業務を熟知し、照会対応業務及び督促業務ができる こと

#### (業務の繁閑の状況とその対応)

○ 12月~2月にかけて、基礎調査の実施にかかる調査関係書類の配布、調査票の回収、調査対象からの照会対応、調査票の審査、未提出調査対象への督促等、業務の繁忙期にあたる

#### (注記事項)

- 1. 調査の実施に要した人員については、民間委託をしているため、(農林水産省の職員数として)「一」としている。
  - 常勤職員の基礎調査の人員については、今回新たに委託する「母集団整備に係る業務」に要した人員である。
- 2. 平成25年基礎調査(26.1実施)に民間事業者が実施に要したのは、延べ11人日である (非常勤除く)。

(常勤:6人、非常勤10人)

- ・実査準備(調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等) 30人日
- ・調査票の回収・督促 2人日
- ・審査・疑義照会対応 3人日
- ・集計・第1報結果表作成・審査 3人日
- ・調査対象への謝礼支給 1人日
- 3. 平成25年月別調査に民間事業者が実施に要したのは、延べ88人日である(非常勤除く)。

(常勤:6人、非常勤:10人)

- ・実査準備(調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等)2人日
- ・調査票の回収・督促 14人日
- ・審査・疑義照会対応 31人日
- ・集計・第1報結果表作成・審査 38人日
- ・調査対象への謝礼支給 3人日

#### 従来の実施に要した人員 (続き)

#### (注記事項) (続き)

4. 平成26年基礎調査に民間事業者が実施に要したのは、延べ12人日である(非常 勤除く)。

(常勤:5人、非常勤:9人)

- ・実査準備(調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等)2人日
- ・調査票の回収・督促 2人日
- 審査・疑義照会対応 4 人 目
- ・集計・第1報結果表作成・審査 3人日
- ・調査対象への謝礼支給 1人日
- 5. 平成26年月別調査に民間事業者が実施に要したのは、延べ60人日である(非常 勤除く)。

(常勤:5人、非常勤:9人)

- ・ 実査準備 (調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等) 3人日
- ・調査票の回収・督促 9人日・審査・疑義照会対応 21人日
- ・集計・第1報結果表作成・審査 26人日
- ・調査対象への謝礼支給 2人日
- 6. 平成27年基礎調査に民間事業者が実施に要したのは、延べ11人日である(非常 勤除く)。

(常勤:6人、非常勤:10人)

- ・実査準備(調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等)2人日
- ・調査票の回収・督促 2人日
- ·審查 · 疑義照会対応 3 人 目
- ・集計・第1報結果表作成・審査 3人日
- ・調査対象への謝礼支給 1人日
- 7. 平成27年月別調査に民間事業者が実施に要したのは、延べ70人日である(非常 勤除く)。

(常勤:6人、非常勤:10人)

- ・実査準備(調査関係用品の印刷、調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認等)2人日
- ・調査票の回収・督促 11人日 ・審査・疑義照会対応 25人日
- ・集計・第1報結果表作成・審査 30人日
- ・調査対象への謝礼支給 2人日

#### 3 従来の実施に要した施設及び設備

- (1) 平成25年度
- 施設 会社事務室一角
- 〇 設備

電話16台、FAX2台、コピー機2台、パソコン16台、プリンタ2台、シュレッダー1台、書庫、机・椅子

#### (注記事項)

- 1.上記設備は、兼務している他業務分を含む。
- 2. 事業を実施するために必要となる施設及び設備は、受託者において準備した。

#### (2) 平成26年度

○ 施設

会社事務室一角

○ 設備

電話19台、FAX2台、コピー機2台、パソコン19台、プリンタ2台、 シュレッダー1台、書庫、机・椅子

#### (注記事項)

- 1. 上記設備は、兼務している他業務分を含む。
- 2. 事業を実施するために必要となる施設及び設備は、受託者において準備した。
- (3) 平成27年度
- 施設 会社事務室一角
- 〇 設備

電話16台、FAX2台、コピー機2台、パソコン16台、プリンタ2台、シュレッダー1台、書庫、机・椅子

#### (注記事項)

- 1. 上記設備は、兼務している他業務分を含む。
- 2. 事業を実施するために必要となる施設及び設備は、受託者において準備した。

#### 4 従来の実施における目標の達成の程度

· PC/(4/)/(1001/001/001/	K 0 2 2 190 0 2 1	<del>-/~</del>				
	平成2	5年度	平成26年度		平成27年度	
	目標・計画	実績	目標・計画	実績	目標・計画	実績
基礎調査	100%	100%	100%	100%	100%	100%
月別調査	100%	100%	100%	100%	100%	100%

#### (注記事項)

1. 回収率の算定根拠

回収率は、以下により算出したものである。

調査対象数は、1年間の総調査対象数であり、調査不適合により除外した対象はない。

#### ①平成25年

○基礎調査(回収率100%)

調查対象数:605工場、回収数:605工場

○月別調査(回収率100%)

調査対象数(延べ): 4,437工場、回収数: 4,437工場

#### ②平成26年

○基礎調査(回収率100%)

調查対象数:594工場、回収数:594工場

○月別調査(回収率100%)

調査対象数(延べ):4,293工場、回収数:4,293工場

#### ③平成27年

○基礎調査(回収率100%)

調査対象数:588工場、回収数:588工場

○月別調査(回収率100%)

調査対象数(延べ):4,298工場、回収数:4,298工場

#### 5 従来の実施方法

従来の実施方法(業務フロー図等)

牛乳乳製品統計調査(基礎調査)の流れ図(別紙2-1)、牛乳乳製品統計調査 (月別調査)の流れ図(別紙2-2)及び「民間競争入札実施事業 牛乳乳製品統 計調査の実施状況について」(別添)参照

#### (事業の目的を達成する観点から重視している事項)

- 民間事業者との連絡を密にし、打合せや電話連絡により情報交換や意見交換を 行い、調査の実施における具体的な問題点等を把握し改善を図ることにより、よ りよい統計になるよう努めている。
- 調査対象からの問合せに対しては、迅速・丁寧・正確に回答している。
- 基礎調査において、調査対象に調査拒否された場合、民間事業者へ再度適切な 指導を行っている。しかしながら、数度の依頼でも協力が得られない場合は、農 林水産省から調査対象に直接協力依頼するなど、すべての調査対象から調査協力 を得られるよう努めている。
- 調査票の回収から公表までの期間が短いため、調査結果を正確かつ迅速に集計 することが重要である。

#### (注記事項)

- 1. 調査対象への翌年の調査の連絡・協力確認
  - ・ 基礎調査:調査対象への協力依頼・確定は、毎年12月下旬ごろから電話等による協力依頼を経て、1月上旬頃に調査を実施した。
  - ・ 月別調査:調査対象への協力依頼・確定は、調査協力の継続を維持する観点から、基礎調査協力依頼にあわせ調査協力を取り付けた。
- 2. 調査対象の継続率
  - 転業、休廃業その他理由により継続することが不可能となった場合を除き、 継続率は100%である。

#### |3. 調査方法と実績

平成26年基礎調査及び平成27年月別調査は、郵送、オンライン又はFAXの中から調査対象が希望する方法により行った。

① 平成26年基礎調査

調査は、調査票を郵送又はオンラインにより送付し、郵送、FAX又はオンラインにより回収する方法。

• 郵送回収

44調查対象

· FAX回収

304調査対象

オンライン回収

246調查対象

② 平成27年月別調査(H27年12月回収実績)

調査は、調査票を郵送又はオンラインにより送付し、郵送、FAX又はオンラインにより回収する方法。

• 郵送回収

8調査対象

FAX回収

163調查対象

オンライン回収

188調査対象

なお、調査関係用品の配布及び調査票の回収における郵送料は約35万円(郵送に掛かる人件費等は含まない。)であった。

#### 5 従来の実施方法(続き)

#### (注記事項) (続き)

4. 調査対象からの照会件数 (平成27年)

平成26年基礎調査及び平成27年月別調査における調査対象からの照会件数は次のとおり。

#### 基礎調査

合計件数	記入方法	システム関係	その他
12	2	2	8

#### 月別調査

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間計
記入方法	-	-	1	-	-	-	_	-	1	-	-	-	2
システム関係	-	3	5	1	9	5	2	4	2	1	2	2	36
その他	5	10	15	6	13	6	1	3	9	-	1	1	70

調査内容:調査票の記入の仕方

オンライン調査システムの操作方法

担当者や連絡先の変更

等

#### 5. 調査対象への疑義照会件数

平成26年基礎調査及び平成27年月別調査における調査対象への疑義照会件数は次のとおり。

#### 基礎調査

	平成26年			
疑義照会件数	242			

#### 月別調査

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
疑義照会件数	297	299	310	304	301	295	310	303	304	292	294	307

#### 疑義照会の内容

・前年調査票データと比較した対象データの増減(変動)理由、工場間における生乳の送受乳量及び繰越・繰入量の確認、飲用牛乳等の都道府県出荷量の確認、記入誤りの確認等

疑義照会については、常時4名体制で対応した。

#### 5 従来の実施方法(続き)

#### (注記事項) (続き)

#### 6. 督促の方法と実績

平成26年基礎調査及び平成27年月別調査の民間事業者による督促は、4名体制で対応した。

その方法については、電話、FAX又は電子メールにより報告期日の事前に行い、連絡がつかない場合は、再度、FAX又は電子メールにより督促を行った。

#### 7. 調査対象への謝金支払

平成26年基礎調査及び平成27年月別調査においては、調査対象に支払う調査協力謝金については、工場の代表者等に対し、口座振込により支給している。

平成26年基礎調査については、594調査対象のうち受取を辞退した調査対象を除いた546調査対象に対して4,080円、総額約223万円(謝礼支払いに要する人件費や振込手数料等は含まない。)を支払った。

平成27年月別調査については、375調査対象のうち受取を辞退した調査対象を除いた343調査対象に対して調査票を回収した月数割合に応じて年額最高35,040円、総額約834万円(謝礼支払いに要する人件費や振込手数料等は含まない。)を支払った。